

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 5 月 2 日 (NO.74)



浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

教職員の推進組織

## 小中一貫CS推進協議会

■平成 28 年 4 月 26 日、「第 1 回浦幌町小中一貫 CS 推進協議会」を開き、次のような組織や事業内容が決まりました。

### (1) 組織

会長 久門好行(教育長)

副会長 水野豊昭(浦幌小校長) 松橋達美(浦幌中校長)

委員 野上泰宏(中央小校長) 池田哲(上浦幌中校長)

白井将之(浦幌小教頭) 鈴木信男(上浦公民館長)

鳥居真之(学習指導部長) 小泉伸二(生徒指導部長)

金田 学(うらスタ部長) 高田三十三(CS 担当)

甲谷聡枝(学習指導部長) 澤田理沙(生徒指導部長)

佐藤陽子(うらスタ部長) 坂下由紀(CS 担当)

事務局 鈴木 広(教育次長) 高橋 慎(次長補佐) 佐藤 巨(次長補佐)

菅野泰範(係長) 松田健一(係長)



### (2) 活動内容

- ・9年間を見通した教育課程の編成実施(外国語活動・英語科 他)
- ・教職員の合同研修、ジョイント教室や乗り入れ授業等の実施、交流
- ・うらほろの育みアクションプランを活用した学校評価システムの構築

(3) 学園 CS 活動の交流 熱心に次のような交流がなされました。



- 中学 2 年生の職業体験活動を CS に位置付けるよう考慮していきたい。また、職業体験活動を夏期休業中に実施して授業時間を確保し、地域の方々を中心とした学びの場としていきたい。
- 中学 3 年生の「地域活性化案」発表を 2 年生が見ることによって、より系統性が確保される。
- 地域の方々と共に目指す学校をつくるという当事者意識を持つことが CS の狙いだと思う。
- 漢字検定や英語検定は、推進協議会の学習指導部だけでなく、CS などの支援を得ながら進めていきたい。意義のある取組なので是非進めてほしい。
- 学習常規は、学園として共通のきまりを定めて取り組んでいきたい。  
きまりの主な項目は、①学習の準備、②心のこもった挨拶、③机上の整理、④家庭学習の励行、⑤未定・・・宮本武蔵の「五輪書」によれば、地の巻(事前の準備)、水の巻(心の持ち方、準備、挨拶)、火の巻(自分の考え、家庭学習)、風の巻(身の回りの環境、整理)、空の巻(無心の教え)。
- 今年から、自校の校務分掌を小中一貫 CS 推進協議会の 3 部会と一致させた。
- 学園アクションプランを日々の教育活動や学校評価に生かしていくことが大切。